

第5学年 国語科学習指導案

日 時：令和6年 7月16日（火）

学 級：5年1組 31名

指導者：尾久第六小学校 5年担任

自分の考えをもち、主体的・対話的に学びを深める児童の育成
～国語科「読むこと(説明的文章)」を通して～

1. 単元名 文章の要旨をとらえ、考えたことを伝え合おう。

教材名「言葉の意味が分かること」

2. 単元の目標

知識及び技能	・原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。((2)ア) ・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。((1)カ)
思考力、判断力、表現力等	・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。((1)ア) ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。((1)オ)
学びに向かう力、人間性等	・粘り強く文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとする。

3. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ② 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ)	① 「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。((1)ア) ② 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。((1)オ)	① 単元の学習目標を理解し、達成に向けて学習計画を立てている。 ② 粘り強く文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 ③ 筆者の考えに対する分かったことや考えたことを伝え合い、考えを広げている。

4. 研究主題に迫るための手立て

(1) 確かな知識・技能の習得

・文章構成を捉えさせる工夫

筆者の考えや、事例の示し方に対する自分の考えをまとめ、表現するためには、文章構成を正確に捉え、筆者が伝えたいことを読み取る力が必要である。そのため本単元では、文章の構成を捉える際に文章構成図を用いて、児童が視覚的に文の構造を捉えられるようにする。「見立てる」・「言葉の意味が分かること」の構成を繰り返

し図にまとめることで、説明文の基本的な構成を理解させたい。

(2) 単元構成の工夫

・ 児童自身が学習計画を立てる

本単元では、児童に何のために要旨を捉える必要があるのかを意識させていく必要がある。要旨を捉えることは、目的ではなく、文章を読み、自分の考えを形成するための手段であると認識させたい。そのため、改めて本単元の目標と教科書 p.60,61「見通しをもとう」や初発の感想で児童から出た疑問等を手掛かりにしながら、児童自身で学習計画を立てる。ゴール設定と学習の見通しの明確化によって、一つ一つの活動に意味をもたせるとともに、児童の主体性を引き出しながら学習を進めていく。

・ 振り返りシートの活用

児童の問いや疑問を基に立てられた学習計画を視覚化し、児童が授業の見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。本時の学びを言語化して振り返ることで、学びの成果を確認できるようにしたい。また、教師が児童の学びの変容を見取り、コメント等することで価値付けていきたい。

(3) 学びを深めるための工夫

・ 自分の経験や体験、知識と結び付けて考える

筆者が挙げた事例や主張に対する自分の実感が伴わないと、考えの形成にはつながりづらいと考えた。説明の内容を深く理解させるために、単元を通して、自分の生活場面を振り返りながら、具体的に考えられるようにする。説明内容を字面だけで捉えるのではなく、それを踏まえて自分の身の回りや他の例にあてはめて考えさせたい。単元の導入や自分と結び付けて考えたい場面で、「〇〇について（教材の内容）知っていることはありますか？」や「題名について知っていることはありますか？」、「事例について、聞いたことや知っていること、経験したことがありますか？」などの発問を投げかける。また、考えをまとめる際には「自分も～したことがある。（事例に対して）」や「これから～に生かしていきたい。（主張に対して）」などと、具体的な表し方をワークシートや板書で視覚化する。

・ ICT の活用

児童がどんなことを感じ、何の理解に苦しんでいるかを明らかにして、児童の初発の感想を生かした学習計画を立てていけるようにしたい。そのため、初発の感想を「ふきだしくん」を使って書かかせる。児童から出た疑問や感じたことを画面上で共有し、全体で整理する。学級の「言葉の意味が分かること」に対する捉え方や感じ方を可視化する。

5. 単元の指導と評価の計画

時	目標◆・学習内容	評価		
		知 技	思 判 表	態 度
				◎評価規準 <評価方法>
1	◆「見立てる」の文章構成を捉え、筆者の考えをまとめよう。			
	・リード文を読んだり題名読みをしたりして、筆者の考えに対して自分の考えをもつことを確かめる。 ・文章構成を捉え、筆者の考えをまとめる。	②		◎文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。 <発言・記述>
2	◆「見立てる」の要旨を捉え、自分の考えをまとめることができる。			
	・文章構成や事例を意識して、文章の要旨を捉える。 ・「見立てる」の筆者の考えや、事例の示し方に対する自分の考えをまとめる。		①	②
				◎「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 <発言・記述>
				◎粘り強く文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 <発言・記述>
3	◆「言葉の意味が分かること」の学習の見通しを基に学習課題を設定し、学習計画を立てられる。			
	・全文を読み、感想や疑問を書き、整理する。 ・「言葉の意味が分かること」を読み、学習の見通しや初発の感想を基に、学習課題と学習計画を立てる。			①
				◎単元の学習目標を理解し、達成に向けて学習計画を立てている。 <発言・観察>
4	◆文章をまとまりごとに整理して内容を捉え、文章の構成について考えることができる。			
	・「言葉の意味が分かること」を読み、文章構成や筆者の考えを捉える。 ・「はじめ」「中」「終わり」に分ける。	②		
				◎文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。 <発言・観察>
5	◆「原因と結果」を意識して、事例と筆者の考えの結びつきを確かめることができる。			
	・事例の示し方について考える。 ・事例に着目し、原因と結果について考える。また、この文章構成の効果について考える。	①		
				◎原因と結果など情報と情報との関係について理解している。 <発言・記述>

6	◆文章の要旨をまとめることができる。				
	・重要な言葉や文を、繰り返し使われている言葉に注目してまとめる。 ・文章の話題と全体の構成から筆者の考えを捉え、要旨をまとめる。		①	②	◎「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 〈発言・記述〉 ◎粘り強く文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 〈発言・記述〉
7 本 時	◆筆者の考えに対する自分の考えをまとめることができる。				
	・初読時の感想を振り返り、ここまでの学習を踏まえて考えたことや、学んだこと、どのような生活場面に生かしていきたいかなどをペアやグループで交流する。 ・筆者の考えに対する自分の考えをまとめる。		②		◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 〈記述〉
8	◆筆者の主張に対する自分の考えを伝え合い、考えを広げたり深めたりできる。				
	・自分の考えを発表し、互いに感想を伝え合う。 ・学習の振り返りを行う。			③	◎筆者の考えに対する分かったことや考えたことを伝え合い、考えを広げている。 〈発言・観察〉

6. 本時の学習（7/8）

（1）ねらい

筆者の考えに対する自分の考えをまとめることができる。

（2）展開

時間	○主な学習活動	※指導上の留意点 ★評価　＜＞評価方法
5分	○立てた学習計画から本時の内容を確認する。 ○本時のめあてを確認する。 筆者の考えに対する自分の考えをまとめよう。	
10分	○筆者の考えを確認する。	※「言葉の意味には広がりがある」など文章中の重要な語句を振り返ることを通して、筆者の考えを確認する。

10分	○自分の考えをグループで話す。 C:最初に読んだときは、「言葉の意味のはんい」がよく分からなくて、なぜ大切なのかも分からなかったけれど、事例を読んだり、みんなで事例を出し合ったりしたことで理解できたよ。 C:英語など他の国の言語を学ぶときは、言葉の意味のはんいを意識したいと思った。	※初発の感想を振り返り、ここまでの学習でどのように変化したかや文章を読んで大切に思ったことなどを考えさせる。 ※学んだこと、考えたこと、どのような生活場面で生かせそうか、どのような経験があったかなどの視点で話すようにする。
15分	○筆者の考えに対する自分の考えの書き表し方を知る。 ①初めに読んだときと比べてどう感じているかや文章を読んで大切に思ったことなどを書く。 例)初めは、言葉のはんいの意味が分からなかったけど、くわしく読んでみて、広がりを理解して言葉を学ぶことは大切だと思いました。 (～と考えました。～を学びました。など) ②これからに生かしたいことや今までの自分の経験(わたしも～したことがあります。これから～に生かしていきたいです。) ○筆者の考えや事例の示し方に対する自分の考えをまとめる。 C:初めは、言葉のはんいの意味が分からなかったけど、くわしく読んでみて、広がりを理解して言葉を学ぶことは大切だと思いました。これから、他の国の言語を学ぶときは言葉の意味のはんいを理解して、勉強していきたいと思います。 C:この文章を読んで、言葉を「点」としてとらえるのではなく、「面」としてとらえることの大切さを学びました。自分は正しいと思って使っていた言葉も、もしかしたら間違った使い方をしていた可能性があると思いました。自分の言葉の意味のとらえ方を見直していきたいです。	※書き出し等の話型を板書する。 ★「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 〈記述〉
5分	○本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。 ・振り返りシートを書く。	